A picture containing fish

Description automatically generatedA picture containing drawing

Description automatically generated

最終改訂日： 2023年4月14日  
本資料は日本語参考訳です。英語のPRI REPORTING FRAMEWORKも併せてご確認ください。日本語版と英語版で相違が生じている場合には、英語版の内容が優先します。

**債券**

**PRI報告フレームワーク**

**2023**

目次

[全体的なアプローチ 4](#_Toc127804772)

[重要課題（マテリアリティ）分析［FI 1］ 4](#_Toc127804773)

[FI 1 4](#_Toc127804774)

[ESGトレンドのモニタリング［FI 2］ 7](#_Toc127804775)

[FI 2 7](#_Toc127804776)

[投資前 10](#_Toc127804777)

[調査へのESGの組み入れ［FI 3、FI 4、FI 5、FI 6、FI 7］ 10](#_Toc127804778)

[FI 3 10](#_Toc127804779)

[FI 4 12](#_Toc127804780)

[FI 5 14](#_Toc127804781)

[FI 6 17](#_Toc127804782)

[FI 7 19](#_Toc127804783)

[ポートフォリオ構築へのESGの組み入れ［FI 8］ 21](#_Toc127804784)

[FI 8 21](#_Toc127804785)

[パッシブ運用投資［FI 9、FI 10］ 24](#_Toc127804786)

[FI 9 24](#_Toc127804787)

[FI 10 26](#_Toc127804788)

[投資後 28](#_Toc127804789)

[ESGリスクの管理［FI 11、FI 12］ 28](#_Toc127804790)

[FI 11 28](#_Toc127804791)

[FI 12 31](#_Toc127804792)

[パフォーマンスのモニタリング［FI 13、FI 14］ 33](#_Toc127804793)

[FI 13 33](#_Toc127804794)

[FI 14 35](#_Toc127804795)

[テーマ型債券［FI 15、FI 16、FI 17］ 36](#_Toc127804796)

[FI 15 36](#_Toc127804797)

[FI 16 38](#_Toc127804798)

[FI 17 40](#_Toc127804799)

[ESGスクリーニングの開示［FI 18］ 42](#_Toc127804800)

[FI 18 42](#_Toc127804801)

# 全体的なアプローチ

## 重要課題（マテリアリティ）分析［FI 1］

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 1 | **依存関係** | **OO 21** | **サブセクション**  **重要課題（マテリアリティ）分析** | | | | **PRI原則**  **1** | | | **指標種別**  **コア** | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **貴組織は**[**債券**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article)**資産全体について、**[**重要なESG要因を特定して組み入れについて**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**正式な投資プロセスを定めていますか。** | | | | | | | | | | | |
|  | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | | | |
|  | | | **すべての資産の 種類** | | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | | **（3）**[**証券化商品**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（4）**[**プライベート・ デット**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) |
| （A）はい、投資プロセスに重要な[ガバナンス要因](https://www.unpri.org/reporting-definitions)を 組み入れている | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 |
| （B）はい、投資プロセスに重要な[環境](https://www.unpri.org/reporting-definitions)および[社会](https://www.unpri.org/reporting-definitions)要因を 組み入れている | | | ［同上］ | | ［同上］ | ［同上］ | | | ［同上］ | | ［同上］ |
| （C）はい、さまざまな投資タイム・ホライゾンに応じて 投資プロセスに重要なESG要因を組み入れている | | | ［同上］ | | ［同上］ | ［同上］ | | | ［同上］ | | ［同上］ |
| （D）いいえ、正式なプロセスを定めておらず、運用担当者が自己の裁量で重要なESG要因を特定している | | |  | |  |  | | |  | |  |
| （E）いいえ、重要なESG要因を特定して組み入れる 正式または非公式なプロセスを定めていない | | |  | |  |  | | |  | |  |
|  | | | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、重要なESG要因に対する署名調査の範囲と深度を評価し、そのプロセスが投資プロセスの一部として形式化されているかどうかを評価することです。署名機関にとって、関連するESG要因の時間の経過に伴う変化を考慮し、債券の分析で重要なガバナンス要因以外にも広げ、組織の正式な投資プロセスまたは投資体系に組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。この取り組みにより、ESGデータやトレンドの分析を行わなければ表面化しない可能性のあるダウンサイド・リスクを特定し、管理できるようになります。この分析を投資プロセスに正式に組み入れることで、組織内での首尾一貫性の確保が促進されます。 | | | | | | | | | | |
| **追加報告 ガイダンス** | 重要なESG要因を特定する正式なプロセスを定めるには、次に掲げる手順の一部または全部を組み入れる必要があります：  （i）投資リサーチ：ダウンサイド・リスクに影響を及ぼす可能性のある重要なESG要因を（発行体のレベルおよび個別証券のレベルで）特定する。  （ii）証券評価：重要なESG要因を財務分析とバリュエーションに統合する（例：組織内の信用評価、予想財務データおよび比率、相対的な格付け、レラティブ・バリュー／スプレッド分析、感応度／ シナリオ分析を行う）。  （iii）ポートフォリオ管理：セクター配分や地理的配分などを通して、リスク管理やポートフォリオ構築に関する決定にESG分析を組み入れる。  本指標では、「正式な」投資プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。  特定の会社またはポートフォリオ全体の構成に関する投資判断をするときに、重要なESG要因を従来からの財務要因と併せて特定し、評価することで、リスクの低減や投資収益の向上を図ります。 投資家はさまざまな技法を用いて、特定のESGデータや広範なESGトレンドを分析しなければ表面化しない可能性のあるリスクおよび機会を特定しています。ESG要因の意義と重要性は企業や セクター、市場によって異なります。本指標は、意義や重要性に関する署名機関の最終判断には関係なく、署名機関の調査プロセスの範囲に関係します。 | | | | | | | | | | |
| **他のリソース** | 債券運用へのESGの重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。 | | | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い3つの組み合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | | | |
| 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  A～Cから3つすべて選択した場合は50ポイント。  AとCの両方、**または**BとCの両方の場合は 40ポイント。  AとBの両方の場合は30ポイント。  A、Bから1つ選択した場合は20ポイント。  Cの場合は10ポイント。  D、Eの場合は0ポイント。 | | **および** | 対象範囲の回答オプション50ポイントの配点：  AからCの回答選択につき、各オプションのポイント比率は 以下のとおりです：  すべて（1）の場合は50/3ポイント。  過半数（2）の場合は25/3ポイント。  一部（3）の場合は12/3ポイント。 | | | | その他の詳細：  「D」または「E」を選択すると、本指標は0/100ポイントに なります。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられる ポイントに影響しません。 各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。 | | | |
| **乗数** | Moderate(（中） | | | | | | | | | | |

## ESGトレンドのモニタリング［FI 2］

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 2 | **依存関係** | **OO 21** | | **サブセクション**  **ESGトレンドのモニタリング** | | | | | **PRI原則**  **1** | | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** | |
| **貴組織は**[**債券**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article)**資産全体について、変化する**[**ESGトレンド**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**の影響をモニタリングして検証するための正式なプロセスを定めていますか。** | | | | | | | | | | | |
|  | | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | | |
| **すべての資産の種類** | | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | | **（3）**[**証券化商品**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | |
| （A）はい、[シナリオ分析](https://www.unpri.org/reporting-definitions)を含む正式なプロセスを定めている  具体的に記入：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | |
| （B）はい、正式なプロセスを定めているが、シナリオ分析は含まれていない  具体的に記入：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | ［同上］ | | ［同上］ | ［同上］ | | | ［同上］ | |
| （C）債券資産に関する正式なプロセスを定めていない。運用担当者が 自己の裁量でESGトレンドが時間の経過に伴いどのように変化するかをモニタリングしている | | | |  | |  |  | | |  | |
| （D）債券資産において変化するESGトレンドの影響をモニタリングおよびレビューしていない | | | |  | |  |  | | |  | |
|  | | | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、署名機関が、変化するESGトレンドのレビューとモニタリングを投資プロセスの一部として形式化しているかどうかを評価することです。重要なESG要因が特定された後（それらが存在するか潜在的であるかの特定を含む）、あらゆる債券資産の種類にわたってすべてのAUMを適用する正式なプロセスを定めることは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスにより、既存の保有資産に対するこれらのトレンドの影響を評価するためのシナリオ分析など、変化するESGトレンドの影響をモニタリングしてレビューできます。 | | | | | | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。  本指標においては、「変化するESGトレンド」には規制、気候、技術、および消費者需要における変化が含まれます。  本指標においては、「シナリオ分析」は気候要因に限定されず、投資の決定に関連するその他のESG要因の分析も含まれます。 | | | | | | | | | | |
| **他のリソース** | 債券投資へのESGトレンドの組み入れに関するガイダンスとケース・スタディについては、[ESGの組み入れに関するガイダンスとケース・スタディ：株式および債券（Guidance and case studies for ESG integration: equities and fixed income）](https://www.unpri.org/investor-tools/guidance-and-case-studies-for-esg-integration-equities-and-fixed-income/3622.article)を参照してください。 | | | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高いものの組み合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | | | |
|  | 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  Aの場合は50ポイント。  Bの場合は33ポイント。  C、Dの場合は0ポイント。 | | **および** | | 対象範囲の回答オプション50ポイントの配点：  すべて（1）の場合は50ポイント。  過半数（2）の場合は25ポイント。  一部（3）の場合は12ポイント。 | | | その他の詳細：  「C」または「D」を選択すると、本指標は0/100ポイントに なります。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられる ポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを 受け取ります。 | | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | | | | | | | |

# 投資前

## 調査へのESGの組み入れ［FI 3、FI 4、FI 5、FI 6、FI 7］

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 3 | **依存関係** | **OO 21** | **サブセクション**  **調査へのESGの組み入れ** | | | | **PRI原則**  **1** | | **指標種別**  **コア** | | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **貴組織は過半数の債券投資について、信用度を評価するときに、**[**重要なESG要因を組み入れで**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**いますか。** | | | | | | | | | | |
|  | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | | |
| **すべての資産の種類** | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（3）**[**証券化商品**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（4）**[**プライベート・デット**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | |
| （A）重要な[環境](https://www.unpri.org/reporting-definitions)および[社会要因](https://www.unpri.org/reporting-definitions)を組み入れている | | |  |  | |  | |  | |  |
| （B）重要な[ガバナンス関連要因](https://www.unpri.org/reporting-definitions)を組み入れている | | |  |  | |  | |  | |  |
| （C）過半数の債券投資について、重要なESG要因を組み入れていない | | |  |  | |  | |  | |  |
|  | | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、ESG要因が、証券リスクとそれらに内在する信用度に関する署名機関の評価基準に情報をどのように提供しているかを評価することです。投資リスクと機会を特定する際に、ガバナンスだけではなく、すべてのESG要因を含めることは、優れた取り組みであると考えられます。債券投資家の場合、リスク分析におけるESG要因の検討が借り手の信用度の評価に反映されるべきです。これにより、リスクと機会の完全な反映および投資決定における効果的な組み入れが可能になります。 | | | | | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 本指標は現在のESG評価基準がどのように予想キャッシュ・フローに影響を及ぼしているかに焦点を当てています。ESG評価の予想される変化は含まれていません。 | | | | | | | | | |
| **他のリソース** | 債券運用へのESGの重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。 | | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標全体で100ポイント。  AとBの両方の場合は100ポイント。  Aの場合は66ポイント。  Bの場合は33ポイント。  Cの場合は0ポイント。 | | | | その他の詳細：  「C」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。 | | | | | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 4 | **依存関係** | | | **OO 21** | | **サブセクション**  **調査へのESGの組み入れ** | | | | | | | **PRI原則**  **1** | | | **指標種別**  **コア** | | |
| **ゲートウェイ** | | | **該当なし** | |
| **貴組織は発行体の国、地域、セクター別に**[**ESGリスク**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**を区別するフレームワークを導入していますか。** | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  | | | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | | | | | | | | | |
| **すべての資産の種類** | | | | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | | | **（3）**[**証券化商品**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | | **（4）**[**プライベート・デット**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | |
| （A）はい、国や地域別（地域のガバナンスや労働慣行など）にESG リスクを区別するフレームワークを導入している | | | | | ［ドロップダウン・リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 |
| （B）はい、セクター別にESGリスクを区別するフレームワークを導入 している | | | | | ［同上］ | | | | ［同上］ | | ［同上］ | | | | ［同上］ | | | ［同上］ |
| （C）いいえ、発行体の国、地域、セクター別にESGリスクを区別するフレームワークを導入していない | | | | |  | | | |  | |  | | | |  | | |  |
| （D）該当しない。発行体の領域が制限されているため、発行体の国、地域、セクター別にESGリスクを区別することができない | | | | |  | | | |  | |  | | | |  | | |  |
|  | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | | | 本指標の目的は、ESGの組み入れを十分に実現させるために、どのくらいの範囲と深度で投資プロセスが適用されているかを評価することです。ESGリスクを国、地域、セクター別に マッピングし、各発行体をピアと比較して評価すること、およびすべての債券資産に一貫してフレームワークを適用することは、優れた取り組みであると考えられます。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | | | 本指標では、国・地域別にESGリスクを区分することは、発行体が事業を運営している地理的エリアおよび司法管轄を区分することを意味します。セクター別にESGリスクを区分することは、発行体が事業を運営している業種（鉱業、消費財など）を区分することを意味します。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| **他のリソース** | | | 債券運用へのESGの重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| **依存関係** | | | ［OO 21］ | | | | | | | | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | | | 該当なし | | | | | | | | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| **評価基準** | | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高いものの組み合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  | | 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  A**および／または**Bの場合は50ポイント。  Cの場合は0ポイント。 | | | | | **および** | 対象範囲の回答オプション50ポイントの配点：  すべて（1）の場合は50ポイント  過半数（2）の場合は25ポイント  一部（3）の場合は12ポイント | | | | その他の詳細：  「C」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  「D」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。 署名機関は、本指標のために減点されることはありません。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。 | | | | | | |
| **乗数** | High(高) | | | | | | | | | | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 5 | **依存関係** | **OO 21** | | | **サブセクション**  **調査へのESGの組み入れ** | | | **PRI原則**  **1** | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** | | |
| **貴組織は**[**デュー・デリジェンス**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**の段階でプライベート・デット投資を選択する際に、どのように**[**重要なESG要因を組み入れて**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**いますか。** | | | | | | | | | |
| * （A）定性的なESGのチェック・リストを使用している | | | | | | ［ドロップダウン・リスト］  （1）すべてのケース  （2）過半数のケース  （3）一部のケース | | | |
| * （B）重要なESG要因の定量的な情報（エネルギー消費量、[カーボン・フットプリント](https://www.unpri.org/reporting-definitions)、ジェンダー・ ダイバーシティなど）を評価している | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （C）ターゲット企業が独自の[責任投資ポリシー](https://www.unpri.org/reporting-definitions)、サステナビリティ・ポリシー、あるいはESGポリシーを持っているかどうかを確認している | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （D）内部機能を利用できない場合、サードパーティ・コンサルタントを採用し、特定の重要なESG 要因に対するテクニカル・デュー・デリジェンスを行っている | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （E）[投資委員会](https://www.unpri.org/reporting-definitions)またはそれに相当する機能によるESGのデュー・デリジェンス・プロセスのレビューと署名を求めている | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （F）業界で認識された責任投資デュー・デリジェンス・アンケート（DDQ）テンプレートを使用している | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （G）デュー・デリジェンス・プロセスの間にプライベート・デット投資を選択するときに、別の方法を 使用して重要なESG要因を組み入れている   具体的に記入：\_\_\_\_ ［自由記述（必須）：ミディアム］ | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （H）デュー・デリジェンスの段階でプライベート・デット投資を選択するときに、重要なESG要因を組み入れていない | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、ESG要因をどのようにプライベート・デットの投資プロセスに組み入れ、投資の選択に焦点を当てているか評価することです。投資前の段階を含むすべての投資決定に対し、ESG要因を分析し、組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスは、投資家がより全体的な視点でリスクを検討することで、隠された要因を特定し、借り手の信用力にどのような影響が及ぼされる可能性があるかを特定するのに役立ちます。  プライベート・デット市場などの流動性が低い市場では、満期まで保有するアプローチが検討され、投資前の段階ではESG要因の検討が不可欠です。 | | | | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 業界で認識された責任投資デュー・デリジェンス・アンケート（DDQ）のテンプレートとして、PRI、Loan Syndications & Trading Association（LSTA）、Alternative Credit Council（ACC）などが提供するものを使用できます。 | | | | | | | | |
| **他のリソース** | プライベート・デット投資へのESGの統合に関するガイダンスについては、[プライベート・デットにおける責任投資に関するスポットライト（Spotlight on responsible investment in private debt）](https://www.unpri.org/private-debt/spotlight-on-responsible-investment-in-private-debt/4048.article)および[PRIのプライベート・デットに関するウェブページ](https://www.unpri.org/investment-tools/fixed-income/private-debt)を参照してください。  債券運用へのESGの統合（インテグレーション）に関するその他の知見については、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。 | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 5つの組み合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | |
|  | 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  A～Fから5つ以上選択した場合は50ポイント。  A～Fから4つ選択した場合は40ポイント。  A～Fから3つ選択した場合は30ポイント。  A～Fから2つ選択した場合は20ポイント。  A～Fから1つ選択した場合は10ポイント。  G、Hの場合は0ポイント。 | | **および** | 対象範囲の回答オプション50ポイントの配点：  AからFの回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです：  すべて（1）の場合は50/5ポイント。  過半数（2）の場合は25/5ポイント。  一部（3）の場合は12/5ポイント。 | | | その他の詳細：  「H」を選択すると、本指標は0/100ポイントに なります。 | | |
| **「その他」の採点** | 「その他（G）」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。 | | | | | | | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 6 | **依存関係** | **OO 21** | | | | **サブセクション**  **調査へのESGの組み入れ** | | | | **PRI原則**  **1** | | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** | | | |
| **時間の経過に伴って変化する**[**重要なESG要因**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**の大きな変化を、**[**債券**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article)**資産評価プロセスにどのように**[**組み入れて**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**いますか。** | | | | | | | | | | | | |
|  | | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | | | |
|  | | | | **すべての資産の種類** | | | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | | **（3）**[**プライベート・ デット**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | |
| （A）財務メトリックスの予測またはその他の定量的評価基準に 組み入れている | | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが 対象 | |
| （B）重要なESG要因の変化を定性的に評価している | | | | ［同上］ | | | ［同上］ | ［同上］ | | | ［同上］ | |
| （C）重要なESG要因に大きな変化を組み入れていない | | | |  | | |  |  | | |  | |
|  | | | | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、債券資産のバリュエーションを調整するために、時間の経過に伴う重要なESG要因の変化が組み入れているかどうか確認することです。現在の重要なESG要因を 評価するだけではなく、それらがどのように変化する可能性があるかを評価し、可能性のある変化を特定して、署名機関のすべてのAUMにわたってそれらを評価することは、優れた 取り組みであると考えられます。 | | | | | | | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 本指標では、「財務メトリックス」は、（i）企業またはプライベート・デットの場合はキャッシュ・フロー、収益、収益性、（ii）SSAの場合は税収、経常支出、資本支出などを指します。 | | | | | | | | | | | |
| **他のリソース** | 債券運用へのESGの重要性の統合（インテグレーション）に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。 | | | | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い2つの組み合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | | | | |
|  | 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  AとBの両方の場合は50ポイント。  A**または**Bの場合は33ポイント。  Cの場合は0ポイント。 | | **および** | | 対象範囲の回答オプション 50ポイントの配点：  AからBの回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです：  すべて（1）の場合は50/2ポイント。 過半数（2）の場合は25/2ポイント。 一部（3）の場合は12/2ポイント。 | | | | その他の詳細：  「C」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられる ポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。 | | | |
| **乗数** | High(高) | | | | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 7 | **依存関係** | **OO 21** | **サブセクション**  **調査へのESGの組み入れ** | **PRI原則**  **1** | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **証券化商品のリスクや収益にどの程度重要な**[**ESG要因を組み入れ**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**ていますか。** | | | | | |
| * （A）主要なカウンターパーティーと裏付けとなる資産プールの両方のレベル   説明：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | | |
| * （B）主要なカウンターパーティーのレベルのみ   説明：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | | |
| * （C）裏付けとなる資産プールのレベルのみ   説明：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | | |
|  | | | | | |
| **説明** | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、財務分析に焦点を当てて、証券化商品の投資プロセスに仕組み債の重要なESG要因がどのレベルで組み入れてているかを評価することです。主要な取引相手先と裏付けとなる資産プール両方について重要なESG要因がリスクと収益にどのような影響を及ぼすかを分析することは、優れた取り組みであると考えられます。これは、投資家がリスクを全体的に評価し、あらゆる製品レベルで隠れた要因を特定するのに役立ちます。 | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 本指標においては、「裏付けとなる資産プール」は証券化された商品を裏付ける資産グループを指します。  本指標では、「主要なカウンターパーティー」は原債権者、スポンサー、サービサー、CLOマネージャーなどを指します（ただし、これらに限定されるわけではありません）。 | | | | |
| **他のリソース** | 証券化商品におけるESG要因の分析と統合に関するケース・スタディについては、[ESGの組み入れに関するガイダンスとケース・スタディ：株式および債券（Guidance and case studies for ESG integration:Equities and fixed income）](https://www.unpri.org/guidance-and-case-studies-for-esg-integration-equities-and-fixed-income/3622.article)を参照してください。 | | | | |
| **ロジック** | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | |
| **評価** | | | | | |
| **評価基準** | 本指標全体で100ポイント。  Aの場合は100ポイント。  B**または**Cの場合は66ポイント。 | | | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | |

## ポートフォリオ構築へのESGの組み入れ［FI 8］

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 8 | **依存関係** | **OO 21** | **サブセクション**  **ポートフォリオ構築へのESGの組み入れ** | | | | | **PRI原則**  **1** | | **指標種別**  **コア** | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| [**重要なESG要因**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**は、証券選定、ポートフォリオ構築、ベンチマーク選定のプロセスにどのように影響しますか。** | | | | | | | | | | |
|  | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | | | |
| **すべての資産の種類** | | | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（3）**[**証券化商品**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | |
| （A）重要なESG要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産やセクター加重の選定に影響する | | | ［ドロップダウン・リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | | ［ドロップダウン・リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | ［ドロップダウン・リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | ［ドロップダウン・リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | |
| （B）重要なESG要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産の保有期間の決定に影響する | | | ［同上］ | | | ［同上］ | ［同上］ | | ［同上］ | | |
| （C）重要なESG要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産のポートフォリオ加重に影響する | | | ［同上］ | | | ［同上］ | ［同上］ | | ［同上］ | | |
| （D）重要なESG要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で資産の国または地域の 加重に影響する | | | ［同上］ | | | ［同上］ | ［同上］ | | ［同上］ | | |
| （E）重要なESG要因は、ポートフォリオ構築、ベンチマーク選定プロセスに他の形で影響する  具体的に記入：\_\_\_\_ ［自由記述（必須）：ミディアム］ | | | ［同上］ | | | ［同上］ | ［同上］ | | ［同上］ | | |
| （F）証券選定、ポートフォリオ構築、またはベンチマーク選定のプロセスには、重要なESG要因の組み入れは含まれていない | | |  | | |  |  | |  | | |
|  | | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標により、署名機関は、証券の評価プロセスや選定基準だけではなく、ポートフォリオの構築プロセスに重要なESG要因がどの程度組み入れているかを明らかにすることができます。特定のポートフォリオまたはファンドのグループではなく、さまざまな投資戦略とすべてのAUMにわたり、ポートフォリオ構築と資産選定のすべての側面に重要なESG要因を組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。回答オプションはポートフォリオ構築のさまざまな側面を示しており、署名機関はそこからESGの検討事項の結果として自己の方針およびリスク選好度を導き出します。 | | | | | | | | | |
| **追加報告 ガイダンス** | 統合、スクリーニング、テーマ性という3つのアプローチを用いて、ESG要因を債券ポートフォリオの構築に組み入れることができます。投資家は目指す運用成果に基づいて、これらのアプローチを選択または組み合わせをします。例えば、ポートフォリオ・リスク・リターン特性の強化、投資ユニバースの決定、特定の環境や社会的な目標への資金配分の拡大が考えられます。  本指標においては、「保有期間」は証券の購入と売却の間の期間です。 | | | | | | | | | |
| **他のリソース** | 債券運用へのESGの重要性の統合（インテグレーション）に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。 | | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い3つの組み合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | | | |
| 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  A～Dから3つ以上選択した場合は50ポイント。  A～Dから2つ選択した場合は33ポイント。  A～Dから1つ選択した場合は16ポイント。  E、Fの場合は0ポイント。 | | | **および** | 対象範囲の回答オプション50ポイントの配点：  AからDの回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです：  すべて（1）の場合は50/3ポイント。 過半数（2）の場合は25/3ポイント。 一部（3）の場合は12/3ポイント。 | | | その他の詳細：  「F」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。 | | | |
| **「その他」の採点** | 「その他（E）」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。 | | | | | | | | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | | | | | | |

## パッシブ運用投資［FI 9、FI 10］

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 9 | **依存関係** | **OO 5.3 FI、OO 21** | **サブセクション**  **パッシブ運用投資** | **PRI原則**  **1** | **指標種別**  **プラス**  **自主開示** | | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **パッシブな運用ファンドの設計において、重要なESG要因が加重およびティルトにどのように影響しているかを示す例を挙げてください。**  例としては、ポートフォリオ構築プロセスの側面や具体的な適用事例などがあります。 | | | | | | |
| ［自由記述：ラージ］ | | | | | |
|  | | | | | |
| **説明** | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標は、署名機関に対して、署名機関がパッシブ債券ポートフォリオにおいて加重およびティルトにESG要因を組み入れる際に、興味深い、画期的、または先進的だと考える事例を詳しく説明する機会を提供します。そのため、署名機関は、さまざまな取り組みや経験を共有することができます。 | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 統合、スクリーニング、テーマ性という3つのアプローチを用いて、ESG要因を債券ポートフォリオの構築に組み入れることができます。投資家は目指す運用成果に基づいて、これらのアプローチを選択または組み合わせをします。例えば、ポートフォリオ・リスク・リターン特性の強化、投資ユニバースの決定、特定の環境や社会的な目標への資金配分の拡大が考えられます。  「加重」とは、特定の保有資産または特定の保有資産の種類が投資ポートフォリオに占める比率をいいます。これは絶対値でも相対値でも示すことができます。  ポートフォリオの「ティルト」とは、代表的なベンチマークと比較したポートフォリオの加重を指します。ティルトは基本的に、指定するベンチマークに対する差異に当たります。  本指標はプライベート・デットおよび証券化デットに適用されません。 | | | | |
| **他のリソース** | パッシブ投資家のESGの組み入れに関するその他のガイダンスについては、[パッシブ投資家はいかにして責任ある投資家になれるのか？（How can a passive investor be a responsible investor?）](https://www.unpri.org/passive-investments/how-can-a-passive-investor-be-a-responsible-investor/4649.article)を参照してください。 | | | | |
| **ロジック** | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 5.3 FI］、［OO 21］ | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | |
| **評価** | | | | | |
| 評価対象外 | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 10 | **依存関係** | **OO 19、OO 21** | **サブセクション**  **パッシブ運用投資** | **PRI原則**  **1** | **指標種別**  **プラス** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **貴組織は**[**パッシブ債券**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**資産の**[**ESGインデックスまたはベンチマーク**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article)**をどのように選択していますか。** | | | | | |
| * （A）カスタマイズされたインデックスを委託している   説明：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | | |
| * （B）利用可能なインデックス・プロバイダー間で手法を比較している   説明：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | | |
| * （C）市場で利用可能なさまざまなオプションのコストを比較している   説明：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | | |
| * （D）その他   具体的に記入および説明：\_\_\_\_\_\_ ［自由記述（任意）：ミディアム］ | | | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| **説明** | |
| **指標の目的** | 本指標は、署名機関に対して、署名機関が債券投資のパッシブ戦略を使用するときに、ESGインデックスまたはベンチマークをどのように選択または設計するかを説明する機会を提供します。 |
| **追加報告ガイダンス** | パッシブ運用投資を追跡するために使用されるESGインデックスまたはベンチマークは、外部のものであることや、ESGフィルターを適用している署名機関によって内部で作成されたものである場合があります。  本指標はプライベート・デットおよび証券化デットに適用されません。 |
| **他のリソース** | パッシブ投資家のESGの組み入れに関するその他のガイダンスについては、[パッシブ投資家はいかにして責任ある投資家になれるのか？（How can a passive investor be a responsible investor?）](https://www.unpri.org/passive-investments/how-can-a-passive-investor-be-a-responsible-investor/4649.article)を参照してください。 |
| **ロジック** | |
| **依存関係** | ［OO 19］、［OO 21］ |
| **ゲートウェイ** | 該当なし |
| **評価** | |
| 評価対象外。 | |

# 投資後

## ESGリスクの管理［FI 11、FI 12］

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 11 | **依存関係** | **OO 21** | | **サブセクション**  **ESGリスクの管理** | | | | | **PRI原則**  **1** | | **指標種別**  **コア** | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** | |
| [**重要なESG要因**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**はポートフォリオの**[**リスク管理**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**プロセスにどのように**[**組み入れて**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**いますか。** | | | | | | | | | | | | |
|  | | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | | | |
| **すべての資産の 種類** | | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | | **（3）**[**証券化商品**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（4）**[**プライベート・デット**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) |
| （A）[投資委員会](https://www.unpri.org/reporting-definitions)メンバーまたはそれに相当する機能・ グループがESGの検討に基づいて投資決定を拒否できる | | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 | | ［ドロップダウン・ リスト］  （1）すべてのAUMが対象  （2）過半数のAUMが対象  （3）一部のAUMが対象 |
| （B）企業、セクター、国、通貨が、重要なESG要因に対するエクスポージャーの変化とリスク制限の違反に対してモニタリングされている | | | | ［同上］ | | ［同上］ | ［同上］ | | | ［同上］ | | ［同上］ |
| （C）特定の重要なESG要因に対する全体的なエクスポージャーが、ポートフォリオの構築に関して測定され、各発行体、またはこれらの要因に対する問題の感応度に応じて規模またはヘッジの調整が行われている | | | | ［同上］ | | ［同上］ | ［同上］ | | | ［同上］ | | ［同上］ |
| （D）別の方法を使用して、重要なESG要因をポートフォリオのリスク管理プロセスに組み入れている  具体的に記入：\_\_\_\_ ［自由記述（必須）：ミディアム］ | | | | ［同上］ | | ［同上］ | ［同上］ | | | ［同上］ | | ［同上］ |
| （E）重要なESG要因をポートフォリオのリスク管理プロセスに組み入れるプロセスを定めていない | | | |  | |  |  | | |  | |  |
|  | | | | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、債券資産の種類ごとに署名機関のリスク管理プロセスへのESGの組み入れの徹底度合いを把握することです。すべてのAUMにおいて、重要なESG要因を組織のリスク管理プロセスに組み入れていることは、優れた取り組みであると考えられます。これにより、組織は、分析しなければ表面化しない可能性のあるリスクを特定し、管理することができます。重要なESG要因のリスク管理プロセスへの統合がポートフォリオの構築と調整に反映されるのが理想的です。 | | | | | | | | | | | |
| **他のリソース** | 債券運用へのESGの重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。<https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article> | | | | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い3つの組み 合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | | | | |
|  | 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  A～Cから3つ選択した場合は50ポイント。  A～Cから2つ選択した場合は33ポイント。  A～Cから1つ選択した場合は16ポイント。  D、Eの場合は0ポイント。 | | **および** | | 対象範囲の回答オプション50ポイントの配点：  AからCの回答選択につき、各オプションのポイント比率は 以下のとおりです：  すべて（1）の場合は50/3ポイント。  過半数（2）の場合は25/3ポイント。  一部（3）の場合は12/3ポイント。 | | | その他の詳細：  「E」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。 | | | | |
| **「その他」の採点** | 「その他（D）」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。 | | | | | | | | | | | |
| **乗数** | High(高) | | | | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 12 | **依存関係** | **OO 21** | **サブセクション**  **ESGリスクの管理** | | | **PRI原則**  **1** | | **指標種別**  **コア** | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **過半数の債券資産について、重要な**[**ESGリスク**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**と**[**ESGインシデント**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**を特定し、リスクの管理プロセスに**[**組み入れる**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**ための正式なプロセスを定めていますか。** | | | | | | | | | |
|  | | | **組織内運用債券資産の種類** | | | | | | |
|  | | | **すべての 資産の種類** | **（1）**[**SSA**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | **（2）**[**社債**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（3）**[**証券化商品**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) | | **（4）**[**プライベート・デット**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article) |
| （A）はい、重要なESGリスクとESGインシデント、および個々の債券保有に 対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている | | |  |  |  | |  | |  |
| （B）はい、重要なESGリスクとESGインシデント、および類似するリスクや インシデントの影響を受けるその他の債券保有に対するそれらの影響に関する 定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている | | |  |  |  | |  | |  |
| （C）はい、重要なESGリスクとESGインシデント、および[スチュワードシップ](https://www.unpri.org/reporting-definitions)活動に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている | | |  |  |  | |  | |  |
| （D）はい、重大なESGインシデントに関する定量的／定性的情報の臨時的なレビューが正式なプロセスに含まれている | | |  |  |  | |  | |  |
| （E）ESGリスクとESGインシデントを特定し、組み入れるための正式なプロセスを定めておらず、運用担当者が自己の裁量で重要なESGリスクとESGインシデントを特定し、組み入れている | | |  |  |  | |  | |  |
| （F）ESGリスクとESGインシデントを特定し、リスク管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスを定めていない | | |  |  |  | |  | |  |
|  | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、署名機関のリスク管理プロセスが、重要なESGリスクとESGインシデントを投資判断および投資調査に正式に組み入れているかを評価することです。理想的には個々の資産レベルでESGリスクとESGインシデントを定期的に特定して組み入れるための正式なプロセスを定めて、投資に関する決定を的確に伝えるための監督および精査の適切な レベルを確立することは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスは、バリュエーションまたは事業モデルにとって重要な影響を持つリスクとインシデントを特定できる必要があります。また、レピュテーション・リスクの点で投資マネージャーにとっても重要な影響があります。 | | | | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。 | | | | | | | | |
| **他のリソース** | 債券運用へのESGの重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を 参照してください。<https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article> | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標全体で100ポイント。  A～Dから4つ選択した場合は100ポイント。  A～Dから3つ選択した場合は75ポイント。  A～Dから2つ選択した場合は50ポイント。  A～Dから1つ選択した場合は25ポイント。  E、Fの場合は0ポイント。 | | | | その他の詳細：  「E」または「F」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。 | | | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | | | | | |

## パフォーマンスのモニタリング［FI 13、FI 14］

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 13 | **依存関係** | **OO 21** | | | **サブセクション**  **パフォーマンスの モニタリング** | | | **PRI原則**  **1** | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** | | |
| **報告年度中に、貴組織は**[**プライベート・デット**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article)**投資をモニタリングする際に、**[**重要なESG要因**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**をどのように組み入れましたか。** | | | | | | | | | |
| * （A）定性的なESGのチェックリストを使用した | | | | | | ［ドロップダウン・リスト］  （1）すべてのケース  （2）過半数のケース  （3）一部のケース | | | |
| * （B）重要なESG要因の定量的な情報（エネルギー消費量、[カーボン・フットプリント](https://www.unpri.org/reporting-definitions)、ジェンダー・ダイバーシティなど）を評価した | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （C）内部機能を利用できない場合、サードパーティ・コンサルタントを採用し、特定の重要なESG要因に対する テクニカル評価を行った | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （D）業界の主要ガイドラインを使用した | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （E）別の方法を使用して、プライベート・デット投資のモニタリングに重要なESG要因を組み入れた   具体的に記入：\_\_\_\_ ［自由記述（必須）：ミディアム］ | | | | | | ［同上］ | | | |
| * （F）プライベート・デット投資をモニタリングするときに、重要なESG要因を組み入れなかった | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| **説明** | | | | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、投資モニタリングに焦点を当てて、ESG要因をどのようにプライベート・デットの投資プロセスに組み入れているかを評価することです。投資後の段階を含む 投資プロセスのすべての段階に、およびすべてのプライベート・デット投資について、ESG要因を分析して統合することは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスは、投資家がより全体的な視点でリスクを検討し、借り手の信用力に影響を及ぼす可能性のある隠された要因を特定するのに役立ちます。 | | | | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 業界の主要ガイドラインには、PRI、Loan Syndications & Trading Association（LSTA）、Alternative Credit Council（ACC）などによって提供されるものなどがあります（ただし、 これらに限定されるわけではありません）。 | | | | | | | | |
| **他のリソース** | プライベート・デット投資へのESGの統合に関するその他のガイダンスについては、[プライベート・デットにおける責任投資に関するスポットライト（Spotlight on responsible investment in private debt）](https://www.unpri.org/private-debt/spotlight-on-responsible-investment-in-private-debt/4048.article)を参照してください。  債券運用へのESGの統合に関するその他の知見については、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。 | | | | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 21］ | | | | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | | | | |
| **評価** | | | | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標の100ポイントを、英字項目（50ポイント）と対象範囲（50ポイント）の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い3つの組み合わせに基づいて決定されます。 | | | | | | | | |
|  | 英字項目の回答オプション50ポイントの配点：  A～Dから3つ以上選択した場合は50ポイント。  A～Dから2つ選択した場合は33ポイント。  A～Dから1つ選択した場合は16ポイント。  E、Fの場合は0ポイント。 | | **および** | 対象範囲の回答オプション50ポイントの配点：  AからDの回答選択につき、各オプションのポイント 比率は以下のとおりです：  すべて（1）の場合は50/3ポイント。 過半数（2）の場合は25/3ポイント。 一部（3）の場合は12/3ポイント。 | | | その他の詳細：  「F」を選択すると、本指標は0/100ポイントに なります。 | | | |
| **「その他」の採点** | 「その他（E）」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。 | | | | | | | | |
| **乗数** | High(高) | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 14 | **依存関係** | **OO 5.3 FI、OO 21** | **サブセクション**  **パフォーマンスのモニタリング** | **PRI原則**  **1** | **指標種別**  **プラス**  **自主開示** | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| [**債券**](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article)**の評価またはポートフォリオ構築に**[**環境／社会要因**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**を**[**組み入れる**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**ことが、それらの資産の実現した投資収益にどのように影響したかを示す例を挙げてください。**  関連する資産、セクター、または資産クラスの財務上の収益に[ESG要因](https://www.unpri.org/reporting-and-assessment/reporting-framework-glossary/6937.article)とリンクを組み入れる手法を例として説明してください。 | | | | | |
| ［自由記述：ラージ］ | | | | | |
|  | | | | | |
| **説明** | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標により、署名機関はさまざまな取り組みおよび経験を共有でき、PRIは、環境および社会要因が実現した投資収益に影響を及ぼした例から成る証拠を収集することができます。 | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 投資収益への影響が特定できる統合、スクリーニング、テーマ性のある戦略への興味深いアプローチを例として挙げることができます。これらの例により、相関関係を浮き彫りにして、 因果関係を説明することができます。 | | | | |
| **他のリソース** | 債券運用へのESGの重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article)を参照してください。<https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article> | | | | |
| **ロジック** | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 5.3 FI］、［OO 21］ | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | |
| **評価** | | | | | |
| 評価対象外 | | | | | |

## テーマ型債券［FI 15、FI 16、FI 17］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 15 | **依存関係** | **OO 20、OO 21** | **サブセクション**  **テーマ型債券** | **PRI原則**  **3** | **指標種別**  **プラス**  **自主開示** | |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **貴組織が保持している何パーセントの**[**グリーン**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**、**[**ソーシャル**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**／**[**その他の分類されている（ラベル付き）テーマ型**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**債券が検証されていますか。** | | | | | |
|  | | | **分類されている（ラベル付き）債券合計のパーセント：** | | |
| （A）[第三者機関による保証](https://www.unpri.org/reporting-definitions) | | | ［ドロップダウン・リスト］  （1）0%  （2）0%超～25%  （3）25%超～50%  （4）50%超～75%  （5）75%超 | | |
| （B）セカンドパーティ・オピニオン | | | ［同上］ | | |
| （C）承認を受けた検証機関または外部評価機関（CBIやICMAなどを介すものなど） | | | ［同上］ | | |

|  |  |
| --- | --- |
| **説明** | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、署名機関のグリーン、ソーシャルまたはサステナビリティ商品がどの程度独立機関により検証されているかを評価することです。すべてのソーシャル、グリーンおよび／またはサステナビリティと分類されている（ラベル付き）債券が独立機関により検証されていることを確認することは、優れた取り組みであると考えられます。 |
| **追加報告ガイダンス** | 本指標は、グリーン・ボンド、ソーシャルボンド、その他の分類されている（ラベル付き）テーマ型債券（サステナビリティ債またはSDG債など）に投資している投資家を対象にしたものであり、 それらの債券を発行する可能性のある発行体は対象にしていません。  本指標は、アクティブ運用されている債券にのみ適用されます。 |
| **他のリソース** | 一部の基準策定機関により審査機関・検証機関のリストが提供されています。ICMAの[グリーン・ボンド、ソーシャルボンド](https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-social-and-sustainability-bonds-database/#HomeContent)、[サステナビリティ債のデータベース（Green, Social and Sustainability bonds database）](https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-social-and-sustainability-bonds-database/#HomeContent)または気候ボンド・イニシアティブの[気候ボンド基準に従って承認を受けた検証機関（Approved Verifiers under the Climate Bonds Standard）](https://www.climatebonds.net/certification/approved-verifiers)を参照してください。 |
| **他の基準の参照** | **インターナショナル・ボンドの基準：**  [CBI気候債券基準（CBI Climate Bonds Standard）](https://www.climatebonds.net/standard)  [国際資本市場協会のグリーン・ボンド原則（ICMA’s Green Bond Principles）](https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/)  [国際資本市場協会のソーシャル・ボンド原則（ICMA’s Social Bond Principles）](https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/social-bond-principles-sbp/)  [国際資本市場協会のサステナビリティ・ボンド・ガイドライン（ICMA’s Sustainability Bond Guidelines）](https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/sustainability-bond-guidelines-sbg/)  [国際資本市場協会のサステナビリティリンクボンド原則（ICMA’s Sustainability-Linked Bond Principles）](https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/sustainability-linked-bond-principles-slbp/)  [国連開発計画の債券発行者のためのSDGsインパクト基準（UNDP SDG Impact Standards for Bond Issuers）](https://sdgimpact.undp.org/sdg-bonds.html)  **リージョナル・ボンドの基準：**  [ASEANボンド基準（ASEAN Bond Standards）](https://www.theacmf.org/initiatives/sustainable-finance/asean-green-bond-standards#:~:text=ASEAN%20Green%20Bond%20Standards&text=The%20ASEAN%20Green%20Bonds%20Standards,green%20finance%20for%20the%20region.)  [オーストリアのエコラベル（Austrian Ecolabel）（UZ49）](https://www.umweltzeichen.at/en/home/start)  [欧州グリーン・ボンド基準（EU Green Bonds Standard）](https://ec.europa.eu/info/business-economy-euro/banking-and-finance/sustainable-finance/european-green-bond-standard_en)  [Febelfin](https://www.febelfin.be/sites/default/files/2019-02/quality_standard_-_sustainable_financial_products.pdf)  [FNG-Siegel](https://fng-siegel.org/)  [Greenfin](https://www.ecologie.gouv.fr/sites/default/files/Label_TEEC_Criteria%20Guidelines.pdf)  [ISRラベル（Le label ISR）](https://www.lelabelisr.fr/en/)  [Luxflagグリーン・ボンド（Luxflag Green Bond）](https://www.luxflag.org/labels/green-bond/)  [ノルディック・スワン・エコラベル（Nordic Swan Ecolabel）](http://www.nordic-ecolabel.org/)  [中国人民銀行グリーン・ボンド・ガイドライン（People’s Bank of China green bond guidelines）](http://www.pbc.gov.cn/english/130437/index.html)  [RIAA](https://responsibleinvestment.org/ri-certification/product-certification/)  [Towards Sustainability](https://www.towardssustainability.be/) |
| **ロジック** | |
| **依存関係** | ［OO 20］、［OO 21］ |
| **ゲートウェイ** | 該当なし |
| **評価** | |
| 評価対象外 | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 16 | **依存関係** | **OO 17 FI、OO 21** | **サブセクション**  **テーマ型債券** | | **PRI原則**  **1** | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **分類されていない（ラベルなし）テーマ型債券への投資を特定するために貴組織が使用している既定の基準は何ですか。** | | | | | | |
| * （A）債券による収益の使途 * （B）発行体の目標 * （C）発行体の目標達成に対する進捗状況 * （D）発行体の特性および目標に対する貢献度 * （E）分類されていない（ラベルなし）テーマ型債券への投資を特定するための既定の基準は使用していない * （F）分類されていない（ラベルなし）テーマ型債券への投資は行っていないため該当しない | | | | | | |
|  | | | | | | |
| **説明** | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、環境／社会的成果に資金を出す自己分類された（セルフラベル付き）または分類されていない（ラベルなし）債券など、署名機関の分類されていない（ラベルなし）テーマ型 債券の投資前のレビューの厳格さを評価することです。特定の環境／社会的成果または目標を達成するために、分類されていない（ラベルなし）テーマ型債券がどのように作用するかを評価 するための既定の基準がを設けることは、優れた取り組みであると考えられます。 | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 本指標は、分類されていない（ラベルなし）テーマ型債券の投資運用機関を対象としたものであり、テーマ型債券の発行候補者を対象としたものではありません。  本指標では、「目標」は、環境または社会的パフォーマンスにおける変化と、金融商品との関係または債券との関係を表します。サステナビリティの成果に特定の目標を設定している場合、 サステナビリティの成果モジュールでそれらを報告することもできます。  本指標は、アクティブ運用されている債券にのみ適用されます。 | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 17 FI］、［OO 21］ | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | |
| **評価** | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標全体で100ポイント。  A～Dから4つ選択した場合は100ポイント。  A～Dから3つ選択した場合は75ポイント。  A～Dから2つ選択した場合は50ポイント。  A～Dから1つ選択した場合は25ポイント。  Eの場合は0ポイント。 | | | その他の詳細：  「E」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  「F」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。署名機関は、本指標のために減点されることはありません。 | | |
| **乗数** | Low(低) | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 17 | **依存関係** | **OO 17 FI、OO 20、OO 21** | **サブセクション**  **テーマ型債券** | | **PRI原則**  **1、2、6** | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **報告年度中に、テーマ型債券の収益が適切に配分されなかった、あるいはボンド・ディールまたは目論見書に従っていなかったと思われた場合に、過半数の事例でどのような措置を講じましたか。** | | | | | | |
| * （A）発行体に対する[エンゲージメント](https://www.unpri.org/reporting-definitions)を行った * （B）テーマ型債券の認定機関に通知した * （C）証券を売却した * （D）発行体をブラックリストに載せた * （E）その他の措置   具体的に記入：\_\_\_\_ ［自由記述（必須）：スモール］   * （F）報告年度中に、テーマ型債券の収益がボンド・ディールに従って適切に配分されなかった場合に、特に措置を講じなかった * （G）報告年度中に、過半数の事例でテーマ型債券の収益はボンド・ディールに従って配分されたため、該当しない | | | | | | |
|  | | | | | | |
| **説明** | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、債券発行体の収入の用途がどのようにモニタリングされているか、および発行体が違反した場合の署名機関の対応行動の厳格さを評価することです。テーマ型債券の収入の用途をモニタリングし、違反の場合に適切な措置を講じることは、優れた取り組みであると考えられます。 | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 署名機関は、報告年度中の大部分の事例において講じる措置を最もよく表している回答オプションを選択してください。  「発行体に対するエンゲージメントを行う」とは、違反の理由および計画された削減措置について説明を求めるために発行体に連絡することを意味します。  「テーマ型債券の認証機関に通知した」は、債券の認証機関に違反を認識させることを意味します。  本指標は、アクティブ運用されている債券にのみ適用されます。サステナビリティ連動債には適用されません。 | | | | | |
| **他のリソース** | グリーン・ボンド発行体に対するエンゲージメントのその他の知見については、[ソブリン・グリーン・ボンド発行体に対するエンゲージメント（Engaging with sovereign green bond issuers）](https://www.unpri.org/engaging-with-sovereign-green-bond-issuers/70.article)を参照してください。 | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 17 FI］、［OO 20］、［OO 21］ | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | |
| **評価** | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標全体で100ポイント。  A～Dから3つ以上選択した場合は100ポイント。  A～Dから2つ選択した場合は66ポイント。  A～Dから1つ選択した場合は33ポイント。  E、Fの場合は0ポイント。 | | | その他の詳細：  「F」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。  「G」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。 署名機関は、本指標のために減点されることはありません。 | | |
| **「その他」の採点** | 「その他（E）」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。 | | | | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | | |

## ESGスクリーニングの開示［FI 18］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **指標ID**  FI 18 | **依存関係** | **OO 17 FI、OO 21** | **サブセクション**  **ESGスクリーニングの開示** | | **PRI原則**  **6** | **指標種別**  **コア** |
| **ゲートウェイ** | **該当なし** |
| **ESGスクリーニングの対象となるすべての債券資産について、顧客がどのようにしてESG**[**スクリーニング**](https://www.unpri.org/reporting-definitions)**とその影響を理解できるようにしていますか。**  署名機関は、ESGスクリーニングが単独、または他の戦略と組み合わせて適用されているすべての債券資産について公開または非公開、（資産が公表を回避するための商業協定または顧客合意の対象になっている場合のみ）に共有された情報に言及する必要があります。 | | | | | | |
| * （A）ESGスクリーニングのリストを共有している * （B）ESGスクリーニングにおける変更を共有している * （C）ESGスクリーニングの影響（ベンチマークからの逸脱やセクター重み付けに対する影響など）を説明している * （D）ESGスクリーニングの対象となるすべての債券資産に関する上記の情報を共有していない | | | | | | |
|  | | | | | | |
| **説明** | | | | | | |
| **指標の目的** | 本指標の目的は、ESGスクリーニングの適用において、顧客に対してどの程度の可視化を図っているか、および同スクリーニング・ポリシーがどの程度一貫して適用されているかを 評価するためのツールが顧客に提供されているかどうかを評価することです。  スクリーニングの適用およびポートフォリオへのそれらの影響は、顧客にとっては理解が難しい場合があります。最低限の基準として、署名機関はそれらのスクリーニングを顧客に説明する必要があります。例えば、顧客またはスクリーニング・ポリシーの変更によって資産運用会社が指定されたときに、それらのスクリーニングに対する変更についての更新を提供し、ポートフォリオ構造への影響を概説することは、優れた取り組みであると考えられます。 | | | | | |
| **追加報告ガイダンス** | 回答オプション「（A）ESGスクリーニングのリストを共有している」は、債券資産に適用されるスクリーニング基準を指し、それらによって影響を受ける企業に適用されるスクリーニング 基準を指しているわけではありません。 | | | | | |
| **他のリソース** | スクリーニングに関するその他のガイダンスについては、[責任投資の入門ガイド：スクリーニング（An introduction to responsible investment: screening）](https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-screening/5834.article)を参照してください。 | | | | | |
| **ロジック** | | | | | | |
| **依存関係** | ［OO 17 FI］、［OO 21］ | | | | | |
| **ゲートウェイ** | 該当なし | | | | | |
| **評価** | | | | | | |
| **評価基準** | 本指標全体で100ポイント。  A～Cから3つすべて選択した場合は100ポイント。  A～Cから2つ選択した場合は66ポイント（Aの選択は**必須**）。  Aの場合は33ポイント。  Dの場合は0ポイント。 | | | その他の詳細：  「D」を選択すると、本指標は0/100ポイントになります。 | | |
| **乗数** | Moderate(中) | | | | | |